石川学院ニュース　No.107　令和3年9月

ご挨拶　- 創立記念日 -

令和3年9月1日は、障がい者支援施設石川学院の23周年の創立記念日です。平成10年に開所し、この間関係者の皆様方に支えられながら事業を推進して参りました。改めて当法人起産石川の事業にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

施設開所以来、重度の知的障害者を施設からグループホームへの移行を推進して参りました。また、行政機関や地域の関連事業所と連携しつつ、障がい者が地域で日常生活を安心して継続的に暮らせるような仕組みづくりとして、うるま市より地域生活拠点事業指定、緊急一時預かり事業、虐待防止センター一部委託、24時間相談体制の実施、福祉避難所の指定、地域活動支援センター事業の受託、それから障害者の家族等が新型コロナに感染した場合、協力体制構築のため日常生活支援体制構築事業への登録等、多くの事業に関わらせて頂き、法人の地域貢献という課題に取り組んでおります。

ところで、昨年から新型コロナ感染症に対峙して、職員一丸となって日々感染防止対策を行い、今現在利用者への感染を防ぎつつ、コロナ禍が落ち着くのを、首を長くして耐え忍んでいます。

そのためしばらく利用者と保護者の面会禁止が続いていますが、保護者の方からの要望もあり、最近は希望者へwebを活用した、面会を実施し帰省のできない利用者や家族の心の繋がりを支援しております。

今後とも法人の理念の下、より良い利用者支援に邁進して参りたいと存じますので引き続きご支援賜りますようお願い致します。

障がい者支援施設　石川学院
施　設　長　　小　橋　川　　昭

花　火　大　会

障がい者支援施設　石川学院

この時期恒例のエイサーや東山祭り等が中止となり、“夏と言えば”という事で、花火大会を行いました。ビデオでエイサーを見た後に“噴出花火”や定番の“手持ち花火・線香花火”を楽しみ、満面笑顔の方やおっかなびっくりな方、じぃ～と花火を眺めている方等、反応は人それぞれでした。最後にかき氷やアイスクリーム等頂き、季節を味わいながら行事を締め括りました。来年は恒例行事が普通に行えるようにと願いつつ、利用者さんが楽しく暮らしていけるよう今後とも頑張っていきたいと思います。　（理学療法士：伊禮　哲也）

エイサー動画鑑賞中

マジッ～ク

花火の後に食べるかき氷・アイスクリーム美味しいです♪

夏休みの思い出

児童デイサービス石川学院

今年も長―い夏休み。いろんな制限がある中でどうにか楽しく過ごそうと、児童ルームで「室内アスレチック」を行い、外ではレクやプール、そして倉敷ダムへ出掛けました。

室内アスレチックでは、「思いっきり体を動かそう！」と言うことで、利用者さんがアイディアを出し合い、途中でコースを変更するなど工夫して遊びました。プール遊びは涼しくて楽しく、大人気でした。

レクでは「紙飛行機飛ばし大会」や「ボウリング大会」、そして夏恒例のすいか割！盛り上がりました。倉敷ダムは水量が激減していましたが、水遊びができる程度は残っていて良かったです（保護者の皆様、お弁当作りありがとうございました）皆が何とか避けようとしていた夏休みの宿題も、勿論、頑張りましたよ（笑）

コロナ禍での2回目の夏休み。本当はもっと外に出て色々な体験や経験をさせてあげたかったです。来年こそは！！

（児童主任：大築　功）

コロナ禍の日常を楽しむ♪

地域活動支援センター　みほそ

まだまだ、油断出来ないコロナウィルス…　その中でもマスクを着用し利用者さんは足を運んでくれます。行事（外出や調理実習）も自粛中のみほそは室内での活動が主になっています。

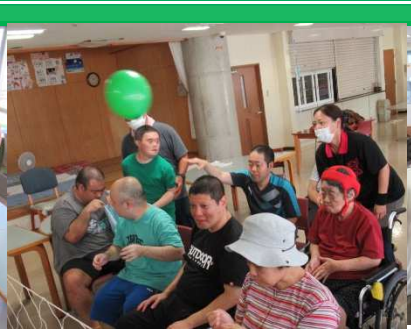
今月は利用者さんと一緒にオリンピック観戦を～！卓球女子（伊藤選手）空手（喜友名選手）を応援。。(^_^)　又、利用者さんと公道の落葉拾い（清掃）ボランティア活動を行い、出入口を夏らしく折り紙の向日葵で彩ったりとちょっとした楽しみを見つけて過ごして来ましたよ

そして、ここうるま市も感染者が増えてきています。より一層の感染対策で職員共に利用者さんを安全にお迎えしたいと思っています。

（指導員：宮平　いづみ）

生活介護センターパラリンピック

生活介護センター石川学院



東京オリンピックでの選手たちの活躍を見て、「皆で楽しく体を動かそう」と8月30日に介護センターパラリンピックを開催しました。競技は風船バレーとダンシング玉入れです。利用者、職員一体となり白熱し盛り上がりました。競技後にはアイスクリームとジュースを頂き、「楽しかったさー。次ある？」と次回を楽しみにしている声も聞かれ、開催して良かったと思いました。

皆さんが健康で安全に過ごせるよう今後も感染予防に取り組み、利用者さんと色々な場所へ行って、安心して楽しめる日常が一日でも早く戻ってくる事を祈っています。

（生活支援員：城間　玲央）

お祝い弁当

就労支援事業所こみこみ

コロナ禍の為、行事弁当の受注等がなかなか無かったのですが、近所に新しく開所した事業所より100個のお弁当注文が！！

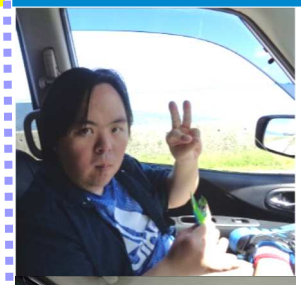
久しぶりの注文に利用者さんも「お祝い弁当？こみこみの隣よね？」「わー美味しそう！」と声が上がる。利用者さんのスキルも以前より上がっているので、仕込みや弁当箱の準備と分かれて作業してもらい、職員も安心して弁当の盛り付けを行うことが出来ました。仕込みから完成まで一通り目にするみんなの顔は心なしか嬉しそうで、モチベーションを上げる良い機会になったと感謝しました。

これからも作業棟一同頑張りますので、ご注文宜しくお願いします！

（職業指導員：湯田　いくみ）

かぐや姫ﾎｰﾑドライブ♪

居住支援事業所風



久しぶりに海中道路へドライブに出掛けました。当日は天気も良く、窓から見える海の景色に「うみだー」、「こみこみで来た事あるよー」と話しながら皆さんリラックスして、ドライブを楽しんでいるようでした。海中道路では、コロナ禍という事もあり、おやつは車内で楽しみ、その後帰路に着きました。

「短い時間」、「おやつは車内で」と制限がありましたが、嬉しそうな表情が見られ気分転換が出来た様です。

このような機会も設けながら、うまくコロナ禍を乗り越えて行けたらと思います。

（生活支援員兼世話人：新垣 雄大）

のぼたんホーム1F・2F避難訓練

居住支援事業所花かご

8月下旬、のぼたんホーム1Fと2F合同で避難訓練を実施しました。のぼたん2Fの利用者さんはグループホーム移行後、初めての避難訓練です。

職員の「火事だー！」の声掛けに、まず1Fの利用者さんが避難所へ素早く移動。2Fの利用さんも階段からスムーズに避難することが出来ました。迅速に避難ができ、訓練を終えました。

（生活支援員兼世話人：池原　加織）

社会福祉法人　起産石川
〒904-1101
うるま市石川東山本町1-20-1
障がい者支援施設石川学院
児童デイサービス石川学院
Tel:098-964-2286　Fax:098-965-6004
生活介護センター石川学院
Tel:098-964-2239　Fax:098-965-6004

〒904-1101
うるま市石川東山本町2-12-15
就労支援事業所　こみこみ
（就労移行支援･就労継続支援B型）
Tel:098-963-0073　Fax:098-963-0074
作業棟（石川学院敷地内）
Tel:098-963-0305 Fax:098-963-0306
ハピメロ（うるま市役所東棟1階）

居住支援事業所　花かご
ふきのとうホーム･のぼたんホーム
居住支援事業所　風
かぐや姫ホーム･ちゅうりっぷホーム
居住支援事業所　きさん
ぽこ･あ･ぽこホーム

〒904-1101
うるま市石川東山本町2-12-15
相談支援センター石川学院
※強度行動障害支援者養成研修修了の
相談支援専門員を配置しています。
Tel:098-964-2445 Fax:098-964-2446

〒904-1101
うるま市石川東山本町1-20-2
ロジャーズ館　3F
社会福祉法人　起産石川　事務局
Tel:098-964-2286 Fax:098-964-5055

〒904-1106
うるま市石川2-2-1　108号
地域活動支援センターみほそ
Tel:098-989-8146　Fax:098-989-8147
Mail: mihoso@otc.ne.jp

発行日：令和3年9月15日発行
発行責任者：理　事 長　　太　　直美
編集担当者：事務局長　　大嶺　徳子

https://kisanishikawa.jp/

職員インタビューNo.64

障がい者支援施設石川学院　生活支援員　　諸見　裕大

Q1:入職の経緯と仕事の魅力を教えてください：
大学時、講師から石川学院の話を聞き、興味を持ったのがきっかけです。利用者さんと関わっていくうえで、自分自身も成長でき、とてもやりがいのある職場だと感じました。

Q2:モットーは？：常笑です。日頃から常に笑顔を絶やさずにをモットーとしています。

Q3: 利用者さんとの思い出は?: 昨年行われた、利用者忘年会です。豪華なご馳走を食べたり、一緒に余興を踊ったりして、利用者さんもとても楽しんでいた様子が印象に残っています。

Q4:趣味･はまってることは？：
小さい頃から続けている三線を弾く事です。

Q5:今後の目標は？：社会福祉士国家資格の取得を目標にしています。

Q6:バトンはどなたへ？：入所の山元大輔さんへ。さわやかでイケメンな理学療法士さんです。

新型コロナウイルス感染防止対策について

法人ではエッセンシャルワーカーへのワクチン優先接種等を利用し、ほとんどの職員が2回のワクチン接種を終えました。又、6月より9月の間、2週間毎、職員全員のPCR検査を実施し、すべての受検で、陽性者はでませんでした。

保護者、利用者の皆様のご協力を得ながら基本的な感染防止対策を継続しているところです。おかげ様で、法人内でクラスター等の発生はなく、経過できていますが、全国的に変異株による感染拡大や医療のひっ迫が問題となっています。

基本的な感染防止対策を継続していくと共に、『コロナ慣れ』とならないように、私たち個々が感染防止に対する強い意識を持ち続けてくことが重要だと思います。

そこで法人では共有パソコン内の掲示板というツールで週に2回、（週初めと週末）『covid 19注意喚起』と題して、メッセージを発信しています。方法は、職員がそれぞれの視点から、注意を呼びかけ、次回は〇〇さんへ。というようにバトンし、リレー形式で発信。感染防止に対する意識が低下しないよう心がけています。

緊急事態宣言がさらに延長され、ストレスがたまりがちとなりますが、心身ともに健康で過ごせるよう工夫を凝らして過ごしています。

事務局長　　大嶺　徳子

※保護者様へ※

コロナ禍、外泊等が困難な状況となっております。法人では7月よりリモートでの面会を実施中で、利用された保護者さんより喜びのお声を頂いております。

リモートでの面会をご希望される方は日程調整等がございますので、事前に下記までご連絡下さい。

入所施設　副管理者　玉城一吉　098-964-2286

※クリスマス＆忘年会について、今年度も中止といたします。
法人としての行事は中止となりますが、各事業所毎での忘年会は行います。